ニチレイチャレンジ特別泳力検定会(長野会場)報告

期日 2019年11月24日(日)
会場 長野市営長野運動公園総合運動場総合市民プール アクアウイング
25m 6レーン(公認)
参加人数 84名(126種目)
ゲスト 森隆弘 2004年アテネオリンピック 200m個人メドレー6位
山口美咲 2008年北京オリンピック 4×200mフリーリレー7位
2016年リオデジャネイロオリンピック 4×100mフリーリレー8位
受検者 1級32人 2級35人 3級39人 4級16人 5級2人 7級2人
合格者 1級26人 2級28人 3級39人 4級16人 5級2人 7級2人
派遣委員 生涯スポーツ委員 余田しげみ 故島保子

1998年の長野冬季オリンピックのアイスホッケー会場であった施設を改修し建設されたアクアウイングを会場に、(公財)日本水泳連盟の後援、株式会社ニチレイの協賛、(一社)長野県水泳連盟と株式会社シンコースポーツの主催により、ニチレイ特別泳力検定会が行われました。

実施日の一月ほど前には、アクアウイングから3キロにある千曲川が決壊し、多大な被害をもたらしました。早速に全国各地より多くのボランティアの皆さんが駆けつけてくれ、“人と人の繋がりを”実感しました。現在、長野市はワンナガノを合言葉に復旧、復興を急いでおります。

全国の皆さんのご支援ご協力にこの場を借りて感謝申し上げます。

さて、特別泳力検定会は(一社)長野県水泳連盟としては初めての企画となりました。地元の新聞などにも告知をし、広く宣伝をしましたところ、市外だけでなく、岐阜県、千葉県からの参加者もおりました。

当日は森隆弘さん、山口美咲さんのオリンピックをお迎えして、まず、午前中に水泳レッスンを午後に検定会を実施しました。水泳レッスンでは、森さん、山口さんの熱意あふれる指導のおかげで、参加者の皆さん、メキメキ上達し、「わかりやすい教えで上達のこつがわかった」と翌日の新聞に掲載されるほど大好評でした。

また、レッスンの合間には、山口美咲さんの10m高飛び込みの実演もありやんやの喝采を浴びていました。検定会はおよそ2時間で終了しましたが、森さん、山口さんは最後まで見届けて頂き、検定を終えてからの参加者の方とのサインや記念撮影にも快く応じて頂きました。

そのなかに、こんな光景がありました。

検定を終えた10歳くらいの女の子が、終わるやいなやサイン会場に駆けこんで来ました。見れば、両目に涙がいっぱい溜まっています。

「どうした?泳いでいて水でも飲んだか」「検定怖かったか。緊張したんだな」「飛び込み失敗したか。腹でも打ったか」

口々に回りの役員が声をかけますが、少女は黙って首を振るばかりでした。少女の見つめる先には、森さん、山口さんの温かい眼がありました。その後、落ち着きを取り戻した少女に聞いてみると、早くいかないと二人が帰ってしまうと思い、心配のあまり涙が出たとのこと。

真相を知って、役員一同大笑いでしたが、この時ばかりは、オリンピックの魅力を痛感したいシーンでした。

水泳ニッポンを支えるのは、今回参加されたような方々になります。そういう人々にとって、生でオリンピックの泳ぎを見たり、指導を受けられるのはまたとない機会でした。

検定を通じて、役員と参加者、ゲストと参加者、参加者同士とたくさんの“人と人の繋がりを”が生まれました。この“繋がりを”こそが、明日への未来を切り開く鍵になると検定を通じて痛感した次第です。

協賛のニチレイ様から提供された水も効果を発揮しました。当日はこの時期としては珍しく秋口頃の気温で湿気と高温の室内プールでのレッスン、検定では貴重な水分補給となり、熱中症の予防ともなりました。

終わりにあたり、この検定会の実現におきましてご尽力頂きました(公財)日本水泳連盟、ご協賛頂いた株式会社ニチレイ、そしてゲストの森隆弘さん、山口美咲さん、派遣委員の余田さん、故島さんに心より感謝申し上げます、報告といたします。